

# 千代田区



出典：国土数値情報及び基盤地図情報(国土地理院)各種データを加工  
東京都通称道路名地図(東京都建設局)

区内の復興小公園は7か所全てが現在も供用し、その数は区立公園の3割を占めている。

ほとんどの復興小公園において改修や老朽化施設の更新を重ねてきており、開設当初の施設や意匠は残されていないが、東郷元帥記念公園※に隣接する九段小学校では、公園側のファサード(外壁)が保存活用されており、当初の雰囲気が感じられる空間に整備されている。

現在の復興小公園では、流れや「こどもの池」等の親水施設が整備されているほか、震災対策用応急給水施設や防災井戸等の防災施設が整備されるなど、防災機能が拡充されている。

芳林公園では、こどもが安全に安心して遊べる環境を提供するため、平日の午前中は門扉を施錠し、昌平小学校や近隣幼稚園・保育園と一般のこども連れ(保護者・付添者等を含む)の方の専用時間として運用されている。

錦華公園は、2023年8月現在、改修整備が行われており、開設当初から引き継がれてきた東側斜面部の「自然風庭園」を保全・改善して次世代に継承することを基本方針の一つとしている。

※1938年に「上六公園」の北側の東郷邸が併合されて「東郷元帥記念公園」に名称変更された。



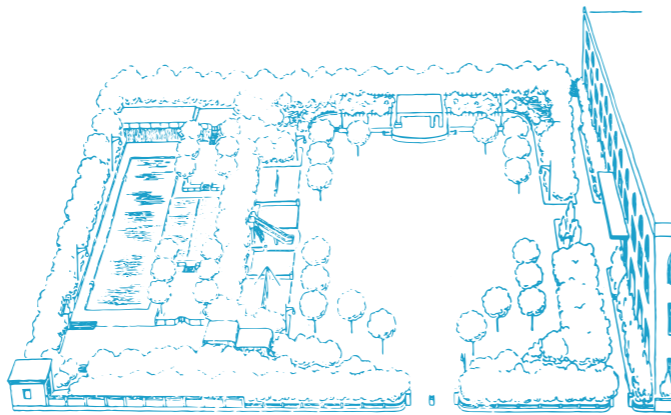
## 1 東郷元帥記念公園 (旧 上六公園)

隣接する九段小学校は近代化産業遺産に指定され、歴史的・公園との一体性が保全されている。園内には震災対策用応急給水施設が設置されている。2023年8月現在、改修工事中であり、2023年4月から小学校前の広場の利用を開始している。

- 7,119 m<sup>2</sup> ● 1929年開設
- 三番町 18



震災対策用応急給水施設



開設当初の公園鳥瞰図(上六公園)  
公益財団法人東京都公園協会資料を基に作成



九段小学校ファサード



## 2 西神田公園 (旧 西小川公園)

高木植栽の周囲に流れが造られている。レンガ積の植栽樹に開設当初の意匠が感じられる。

- 2,084 m<sup>2</sup> ● 1930年開設 ● 西神田 2-3-11



防災井戸とレンガ積

流れ



## 5 神田児童公園 (旧 神田公園)

「こどもの池」のある公園。こどもの池にはシャワー設備があり小さなこどもが安心して遊べる。トンネル型の遊具や流れがある。

- 2,179 m<sup>2</sup> ● 1931年開設 ● 神田司町 2-2



こどもの池

流れ



## 3 錦華公園

2023年8月現在、隣接するお茶の水小学校と併せて改修工事中。児童用と幼児用の複合遊具や親水施設、日陰棚等の施設を設置する計画となっている。

- 2,759 m<sup>2</sup> ● 1929年開設 ● 猿楽町 1-1-2



## 4 淡路公園

市街地再開発事業により刷新され、サクラやカエデなどの樹木と林間小路、流れ、芝生広場により、都会のオアシスのような憩いの空間となっている。

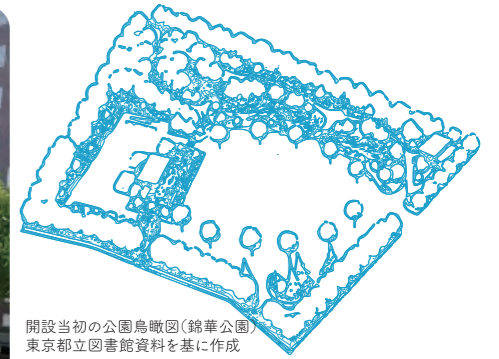
- 3,000 m<sup>2</sup> ● 1930年開設 ● 神田淡路町 2-27



## 6 練成公園

公園中央にクスノキの大木が植わり、緑陰形成による近隣業者の憩いの場となっている。隣接する学校の校舎は、ちよだアートスクエア(一時閉館中)に用途を変更している。

- 1,993 m<sup>2</sup> ● 1931年開設 ● 外神田 6-11-19



開設当初の公園鳥瞰図(錦華公園)  
東京都立図書館資料を基に作成



複合遊具

## 7 芳林公園

隣接する昌平小学校との間に区道が介在する。広場を主体に複合遊具とこどもの池が設置されている。

- 1,954 m<sup>2</sup> ● 1930年開設 ● 外神田 3-5-18



複合遊具

かまどベンチとソーラー照明灯

小学校との位置関係	Ⅰ 校庭に隣接	Ⅱ 校舎に隣接	Ⅲ 道路が介在	Ⅳ その他
公園内の施設	Ⅰ 遊具	Ⅱ 健康遊具	Ⅲ 休憩舎	Ⅳ トイレ
	Ⅴ 広場	Ⅵ スポーツ場	Ⅶ 健康泉	Ⅷ 池流れ・噴水
	Ⅷ ミスト	Ⅷ じゃぶじゃぶ池	Ⅷ ヒートアップ	Ⅷ モニュメント・オブジェ
	Ⅷ 防災トイレ	Ⅷ かまどベンチ等	Ⅷ 井	Ⅷ 防災井戸
	Ⅷ 照明	Ⅷ ソーラー照明灯	Ⅷ 他	Ⅷ その他の防災施設